

MAGNIFICAT 全逐語訳

東方教会に起源をもつ。9世紀頃に西方教会にも取り入れられた。東方教会では早課に用いられるが、西方教会では聖務日課の「夕べの祈り／晩課／晩禱」(Vesperae、ヴェスペレ)に用いられる。歌詞は『ルカによる福音書』(1:46-55)のラテン語訳聖書(ヴルガータ)で、最後に頌栄(doxologia)が続いて終わる。

Magnificat anima mea Dominum,

あがめる 魂は 私の 主を
V.3s 現 fs 主 所形 fs 主 ms 対

わたしの魂は主をあがめます。

et exultavit spiritus meus

そして 喜び讃えた 霊は 私の
conj V3s 完 ms 主 所形 ms 主

わたしの霊は喜び讃えました、

in Deo salutari meo,

神を 救い 私の
prep ms 奪 不定詞※ 所形 ms 奪

私の救いである神を。

※ saluto(救う)の現在・受動・不定詞

quia respexit humilitatem

～の故に 目を留める 卑しさ
conj V3s 完 fs 対

彼はその下女の卑しさにも

※ respicio(見る、重んじる→英 respect)

ancillae suae.

下女の その
fs 属 指代 3fs 属

目を留めて下さったが故に。

Ecce enim ex hoc

見よ 実に ～から ここ
間投詞 adv prep

見よ、今より後、

beatam me dicent

幸いな者 私を 言うでしょう
形 fs 対→名 代 1s 対 V3p 未

私を幸いな女と言うでしょう、

omnes generationes,

全ての 代々の人々は
形 fp 主 fp 主

全ての世代の人々は。

quia fecit mihi magna,

～が 為した 私に 大きな事を
関代.主 V3s 完 代 1s 与 形 fs 奪

私に大きなことをなさいました、

qui potens est,

～が 力がある
関代.主 形.主 beV3s 現

力ある方が。

et sanctum nomen ejus,
聖なる 名は その
conj 形 ns 主 ns 主 代 ms 属

その御名は尊く、

et misericordia ejus,
憐れみは その ※
conj fs 主 代 ms 属

その憐れみは

※ J.S.Bach の曲ではこの ejus を省略

a progenie in progenies
から 子孫 へ 子孫たち
prep fs 奪 prep fp 対

子孫から子孫たちへ、

timentibus eum.
畏れる人々に 彼(主)を
現在分詞→名.p 与 代 ms 対

主を畏れる者に及びます。

Fecit potentiam in brachio suo,
為した 力を ~で 腕 彼の
V3s 完 fs 対 prep ns 奪 形 ns 奪

主はその腕で力を振るい、

dispersit superbos mente cordis sui;
散らした 傲慢な(者たち)を 心 心の 彼の
V3s 完 形→名 mp 対 fs 奪 ns 属 所形 ns 属

傲慢な者たちを打ち散らしました。

deposuit potentes de sede
引き下ろした 強力な(者たち)を ~から 座
V3s 完 形→名 mp 対 prep fs 奪

権力ある者たちをその座から引き降ろし、

et exaltavit humiles;
そして 引き上げた 身分の低い(者たち)を
conj V3s 完 形→名 mfp 対

身分の低い者を引き上げました。

esurientes implevit bonis
飢えた者たちを 満たした 良いもので
mfp 対 V3s 完 np 奪

飢えた者たちを良い物で満たし、

et divites dimisit inanes.
富者たちを 去らしめた 空しい
conj mfp 対 V3s 完 mfp 対

富める者たちを空しく去らしめました。

Suscepit Israel puerum suum,

受け入れた イスラエルを = 僕を 彼の
V3s 完 ms 対 ms 対 所形 ms 対

その僕イスラエルを受け入れて、

recordatus misericordiae suae,

覚えていた 憐れみを 彼の
V 完分 fs 属 所形 fs 属

憐れみを覚えていて下さいました、

sicut locutus est ad patres nostros,

～のように 語った ～に 父祖たちに 我々の
conj V 完分 beV3s 現 prep mp 対 所形 mp 対

我々の父祖たちに語ったように、

Abraham et semini ejus in saecula.

アブラハム ～と 子孫に 彼の 世々に
ms 与 conj ns 与 指代 m.属 prep np 対

アブラハムとその子孫に対して永久に。

頌栄 (doxologia)

Gloria Patri, et Filio, et Spiritui Sancto.

栄光は 父に 子に 聖霊に
fs 主 ms 与 ms 与 ms 与 形 ms 与

栄光は父と子と聖霊に。

Sicut erat in principio,

～のように あった 初めに
conj beV3s 未完了過去※ ns 与

初めにあったように

et nunc, et semper,

今 いつも
副 副

今もいつも

et in saecula saeculorum. Amen.

世に 世の
np 与 np 属

永久に。アーメン。

<あとがき>

一つだけ、よくわからないことがある。冒頭の **magnificat** は現在形 (あがめます) なのに、なぜ次の **exultavit** は完了形 (=過去形、喜び讃えた) なのか、ということだ。英訳 RSV を見てみると、**magnifies, rejoices** とも現在形である。

しかし同じくギリシア語からの直訳として最も信頼できる田川建三氏による訳を見ると、「～あがめ、～を喜びました」となっている。これはどちらも過去形と解釈できる訳だろう。

ちなみに The OnLine Greek Bible (<http://www.greekbible.com/>) を見てみたが、やはり私には解説できなかった。

この歌詞は、天使ガブリエルから受胎告知を受けたマリアが、同じく洗礼者ヨハネを身ごもっていたエリザベツのもとを訪れ、エリザベツから祝福を受けて、マリアがそれに答えた内容である。その冒頭で相次ぐ2つの動詞の時制が異なるのは不自然だろう。なぜラテン語聖書ヴルガータではそれが異なっているのだろうか。

© Kenichi Yamagishi 2018

参考資料：『ルカによる福音書』（1:46-55）

英訳聖書 RSV (Revised Standard Version)、田川建三氏による日本語訳
これらはいずれもギリシア語からの直訳として最も信頼できるものである。

- | | | |
|----|--|-------------------------|
| 46 | My soul magnifies the Lord, | わが魂は主をあがめ、 |
| 47 | and my spirit rejoices in God my Savior, | わが霊は、わが救い主なる神を喜びました。 |
| 48 | for he has regarded the low estate of his handmaiden. | 主はそのはしための低さをかえりみ給うたのです。 |
| | For behold, henceforth | ごらんなさい、今から後は、 |
| | all generations will call me blessed; | すべての代々が私を祝福するでしょう。 |
| 49 | for he who is mighty | 力あるかたが、 |
| | has done great things for me, | 私に大いなることをして下さったからです。 |
| | and holy is his name. | その名は聖く、 |
| 50 | And his mercy is on those who fear him | その慈愛は、代々にわたって、 |
| | from generation to generation. | 主をおそれる者たちに。 |
| 51 | He has shown strength with his arm, | 主は御腕をもって力をふるい、 |
| | he has scattered the proud in the imagination of their hearts, | 心の思いが傲慢である者どもを散らし、 |
| 52 | he has put down the mighty from their thrones, | 権力者をその座から引きずり下ろし、 |
| | and exalted those of low degree; | 低き者を高め給うたのです。 |
| 53 | he has filled the hungry with good things, | 飢えている者を良きもので満たし、 |
| | and the rich he has sent empty away. | 富んでいる者どもを空手のままに追い払い、 |
| 54 | He has helped his servant Israel, | その僕イスラエルをかえりみ、 |
| | in remembrance of his mercy, | 慈愛を思い起こして下さいました。 |
| 55 | as he spoke to our fathers, | 我らの父祖たちに対して語って下さったように。 |
| | to Abraham and to his posterity for ever. | アブラハムとその子孫とに、とこしえに。 |

RSV : <https://quod.lib.umich.edu/r/rsv/browse.html>

田川建三 訳著「新約聖書 訳と註 2 上 ルカ福音書」(作品社)

ちなみにラテン語聖書(ヴルガータ)も、<http://catholicbible.online/vulgate/NT/Lc> で読める。